

令和3年(2021年)6月4日(金曜日)

「腰切不動尊」に
平穏や健康祈る
三島で大祭

1633年に腰から
上だけの状態で発見さ
れたと伝わる石仏をま
つる「腰切不動尊」(三
島市南本町)の大祭が
このほど、開かれた。
地元住民ら約20人が供
物と読経をささげ、繼
承への思いを新たにし
た。

石仏は腰から下の病
気やけがの平癒、安産
などに御利益があると
され、腰切不動尊はか
つて「田町のお不動さ

ん」として親しまれた。
戦後間もないころまで
は大祭に大勢の地元住
民らが足を運んだが、
徐々に管理が行き届か
ず、大祭と例祭を定期

的に執り行つて
いる。例年は大
祭でしゃぎりや
紙芝居などが披
露されるが、今
年は新型コロナ
ウイルスの感染
予防のために規
模を縮小して開
いた。お堂の清
掃に続いて法要
を行い参加者が
焼香して健康と
平穏を祈った。



大祭で健康と平穏を祈る参加者
三島市南本町